

保護者の皆様

札幌市立北郷小学校

校長 佐々木 俊明

## 『全国学力・学習状況調査』における本校児童の結果と課題、改善方向について

初冬の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に深いご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、文部科学省が4月18日（火）に6年生児童を対象に実施いたしました『全国学力・学習状況調査』につきまして、本校の結果と課題、改善の方向がまとまりましたので、お知らせいたします。

### 本校の概要

#### 【区分及び領域】

#### 主として「知識」に関する 問題(A)

■「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の各領域における問題の正答率は、全国平均に比べ下回っている。

■「書くこと」の領域における問題の正答率は、全国平均に比べほぼ同程度であるが、やや下回っている。

■「読むこと」の領域における問題の正答率は、全国平均に比べほぼ同程度である。

#### 主として「活用」に関する 問題(B)

■「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域における問題の正答率は、全国平均に比べ下回っている。

### 今回の調査における課題

#### ＜A問題＞

●「学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く」といった問題の正答率が極端に低い。(例:「対象」「希望」「置く」)

#### ＜B問題＞

●「目的や意図に応じて、文章全体の構成を考慮することができる」といった問題の正答率が極端に低い。(例:相手に分かりやすく説明する)

●「物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる」といった問題の正答率が極端に低い。(例:100字以内でまとめて書く)

### 改善方向

☆全校で「漢字力の向上」に力を入れて、指導していく。

○授業で新出漢字を丁寧に指導する。

#### ＜具体的に＞

- ・書き順の確認
- ・とめ、はね、はらいの確認
- ・音読みと訓読みの確認
- ・送り仮名のある読み方の確認
- ・熟語としての使い方の確認
- ・空書きで書き方の確認

○テストを使った反復練習する。

#### ＜具体的に＞

- ・各学年の国語のテストにある「漢字50問テスト」を活用し、1回で終わるのではなく、コピーなどで何度も実施し、練習を積み重ね、書く事ができる漢字を増やしていく。

【区分及び領域】

主として「知識」に関する

問題(A)

■「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の各領域における問題の正答率は、全国平均に比べ下回っている。

主として「活用」に関する

問題(B)

■「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の各領域における問題の正答率は、全国平均に比べ下回っている。

<A問題>

- 「小数と整数の加法の計算をすることができる」「加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる」「商を分数で表すことができる」といった問題の正答率が極端に低い。(例： $10.3 + 4$ 、 $6 + 0.5 \times 2$ 、 $5 \div 6$ を分数で表す)
- 「正五角形は、五つの合同な二等辺三角形で構成できることを理解している」といった問題の正答率が極端に低い。(例：正五角形をかかための円の中心角を求める)

<B問題>

- 「仮の平均の考えを活用して、測定値の平均を求める」といった問題の正答率が極端に低い。(例：平均の求め方を言葉で説明する)

☆全校で「計算力の向上」に力を入れて、指導していく。

○授業で計算の意味や仕方を丁寧に指導する。

<具体的に>

- ・T.T.を活用して、計算の苦手な児童に個別に指導していく。
- ・単元によっては、少人数指導を取り入れ、学級又は学年をいくつかのグループに分けて、それぞれのグループに合った問題や指導方法を実施する。
- ・チャレンジタイムを活用し、現在の学習内容だけではなく、既習事項も含めた問題を選定して、指導していく。
- ・学習の定着を図るため、児童に教科書の問題やプリントなどで反復練習を行う。

前述のように、この調査は6年生の児童を対象に実施したものです。しかし、過去の結果を見ると、本校児童全体の傾向でもあると考えられます。そのため、今回の調査結果を本校教育活動の課題ととらえ、国語や算数を中心とした指導の改善に活かしていきます。今後とも、保護者の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。